



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
 コード番号 5970 URL <http://www.g-tekt.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	50,996	0.6	3,812	△0.9	4,154	24.6	2,871	23.6
29年3月期第1四半期	50,683	△9.4	3,848	61.6	3,334	93.3	2,323	140.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,327百万円 — 29年3月期第1四半期 △5,353百万円 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	65.80	—
29年3月期第1四半期	53.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	207,751	120,627	52.3
29年3月期	208,584	119,340	51.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 108,637百万円 29年3月期 107,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	△3.9	13,200	△8.3	13,200	△8.5	8,800	△9.3	201.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	43,931,260株	29年3月期	43,931,260株
30年3月期1Q	293,194株	29年3月期	297,672株
30年3月期1Q	43,633,899株	29年3月期1Q	43,624,904株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料については、当社IR情報サイト(URL <http://www.g-tekt.jp/ir/index.html>)を併せてご参照ください。

○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、日本では、雇用情勢の改善を受けて個人消費が緩やかに回復し、景気が回復基調となりました。

米国では、政治は停滞気味であるものの、個人消費が持ち直し、緩やかながら景気が回復しました。欧州では、足元の景気が底堅さを増し、政治リスクも和らぎつつあることから、堅調に景気が回復しました。

また、新興国では、中国の経済指標が引き続き高水準を維持し、新興国全体でも緩やかに景気が回復しました。

自動車業界におきましては、北米では乗用車の販売落ち込みなどの影響で、販売台数が伸び悩みました。中国ではSUV等の需要増を背景に、販売台数が安定した伸びを示しました。日本では、登録車の販売が引き続き増加していることに加え、軽自動車の販売も回復傾向に転じ、販売台数が増加しました。

このような経営環境の中、当社グループでは、今期より「第3次中期経営計画」を始動し、「持続的な成長と進化」を遂げるべく、技術・販売・人事の3つのイノベーションの具体化を進めております。

この取り組みとして、中国における自動車の電動化ニーズや、カーメーカーの動向等の市場調査のため、上海リサーチ拠点を開設することを決定しました。

また、英国における受注拡大に伴い、能力拡大及び域内物流改善のため工場拡張を検討しています。欧州の次世代アルミボディの加速を視野に入れて取り組んでいきます。

当第1四半期連結累計期間の業績については、中国・欧州等における増産により量産売上が増加した一方で、試作等の非量産売上が減少し、売上高はほぼ横ばいの50,996百万円（前年同期比0.6%増）となりました。利益につきましては、営業利益は3,812百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益は、持分利益が改善し、為替差損も縮小したことから、4,154百万円（前年同期比24.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,871百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	13,700	11,051	△2,649	△19.3%
営業利益	641	197	△444	△69.2%

売上高は、量産売上が生産台数増加の一方で機種構成差により前期並みとなりましたが、型設備売上や試作売上が減少し、11,051百万円（前年同期比19.3%減）となりました。営業利益は、コスト低減に努めましたが、減収の影響により、197百万円（前年同期比69.2%減）となりました。

②北米

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	20,679	19,742	△936	△4.5%
営業利益	1,547	1,045	△501	△32.4%

売上高は、インプレッサの生産が好調でしたが、型設備売上の減少、主力車種の生産調整等の影響で量産売上が減少し、19,742百万円（前年同期比4.5%減）となりました。営業利益は、製造費用の増加により、1,045百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

③欧州

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	2,996	3,532	535	17.9%
営業利益	380	480	99	26.3%

売上高は、受注が拡大したシビックの生産好調等により量産売上が増加し、ジャガー向け型設備売上の寄与等により増加し、3,532百万円（前年同期比17.9%増）となりました。営業利益は、増収効果等により、480百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

④アジア

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	8,826	8,849	22	0.3%
営業利益	1,015	1,024	8	0.9%

売上高は、日系各社の生産が弱含みましたが、シビックの受注拡大やフォードの増産などにより、前年並みの8,849百万円（前年同期比0.3%増）となりました。営業利益は、1,024百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

⑤中国

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	7,844	8,322	477	6.1%
営業利益	294	843	548	186.2%

売上高は、型設備売上が減少するも、増産及び打切り補償による量産売上の増加等により、8,322百万円（前年同期比6.1%増）となりました。営業利益は、増収効果に加え、コスト削減により、843百万円（前年同期比186.2%増）となりました。

⑥南米

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	1,370	1,567	196	14.3%
営業利益	33	47	13	40.3%

売上高は、型設備売上の増加及び為替換算の影響等により、1,567百万円（前年同期比14.3%増）となりました。営業利益は、為替換算の影響に加え、原価低減の取り組み等により、47百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より833百万円減少し、207,751百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より2,120百万円減少し、87,123百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より1,287百万円増加し、120,627百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、当初計画に比べ、強含みで推移していますが、年後半の経済情勢に不透明な要素もあり、平成29年5月11日発表の予想数値から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,606	19,716
受取手形及び売掛金	27,395	26,066
製品	857	953
仕掛品	14,141	15,445
原材料	2,555	2,457
貯蔵品	804	826
その他	5,475	5,815
流動資産合計	69,836	71,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,583	46,717
機械装置及び運搬具(純額)	38,375	36,797
工具、器具及び備品(純額)	17,771	16,829
土地	10,669	10,649
建設仮勘定	11,045	12,215
有形固定資産合計	125,446	123,209
無形固定資産	2,685	2,646
投資その他の資産		
投資有価証券	8,210	8,115
その他	2,405	2,499
投資その他の資産合計	10,616	10,615
固定資産合計	138,747	136,470
資産合計	208,584	207,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,086	18,321
短期借入金	13,670	16,578
1年内返済予定の長期借入金	8,241	8,904
未払金	7,914	6,593
未払法人税等	865	1,070
賞与引当金	1,066	910
その他	6,093	4,917
流動負債合計	55,938	57,296
固定負債		
長期借入金	24,927	22,014
退職給付に係る負債	1,579	1,576
役員株式給付引当金	246	276
その他	6,551	5,959
固定負債合計	33,304	29,827
負債合計	89,243	87,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	68,625	70,711
自己株式	△358	△352
株主資本合計	96,581	98,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,095	1,826
繰延ヘッジ損益	△30	△35
為替換算調整勘定	8,952	8,346
退職給付に係る調整累計額	△183	△173
その他の包括利益累計額合計	10,833	9,963
非支配株主持分	11,925	11,990
純資産合計	119,340	120,627
負債純資産合計	208,584	207,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	50,683	50,996
売上原価	43,582	43,967
売上総利益	7,101	7,028
販売費及び一般管理費	3,252	3,216
営業利益	3,848	3,812
営業外収益		
受取利息	47	66
受取配当金	33	32
持分法による投資利益	127	377
その他	73	153
営業外収益合計	282	630
営業外費用		
支払利息	249	197
為替差損	538	34
その他	8	56
営業外費用合計	796	288
経常利益	3,334	4,154
特別利益		
固定資産売却益	4	10
特別利益合計	4	10
特別損失		
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	3,338	4,165
法人税等	666	1,026
四半期純利益	2,672	3,138
非支配株主に帰属する四半期純利益	348	267
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,323	2,871

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,672	3,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△511	△269
繰延ヘッジ損益	—	△4
為替換算調整勘定	△7,397	△443
退職給付に係る調整額	18	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△136	△103
その他の包括利益合計	△8,025	△811
四半期包括利益	△5,353	2,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,936	2,001
非支配株主に係る四半期包括利益	△417	325

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	9,785	20,448	2,940	8,609	7,528	1,370	50,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,915	231	56	217	315	—	4,735
計	13,700	20,679	2,996	8,826	7,844	1,370	55,418
セグメント利益	641	1,547	380	1,015	294	33	3,913

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,913
セグメント間取引消去等	△65
四半期連結損益計算書の営業利益	3,848

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT(Deutschland) GmbH.を連結の範囲に含め、新たに「欧州」セグメントに加えております。
- (2) 第1四半期連結会計期間より、当社における原材料及び貯蔵品の評価方法を移動平均法及び最終仕入原価法から、それぞれ先入先出法に変更しております。

この変更による第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	9,729	19,587	3,435	8,826	7,849	1,567	50,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,321	155	96	23	472	—	2,069
計	11,051	19,742	3,532	8,849	8,322	1,567	53,065
セグメント利益	197	1,045	480	1,024	843	47	3,638

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,638
セグメント間取引消去等	173
四半期連結損益計算書の営業利益	3,812